

## 令和5年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

**北村 貴寿 議員**

◇教育行政

(1) ミライオン図書館の魅力アップについて

①現在のミライオン図書館の特徴についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

全国でも2例しかない県市一体型図書館としまして、蔵書の充実を図りますとともに、地域に密着したテーマから広域的・専門的なテーマに至る、さまざまな分野のイベントや講演会、展示等を実施しているところでございます。

また、こども用の閲覧席やこどもトイレなど親子が利用しやすい設備、フリーWi-Fiや学習スペースの充実などによりまして、幅広い世代にご利用いただいているところでございます。

長崎県の歴史や自然をモチーフに、環境にも配慮した優れたデザインは、まちのシンボルとなっております。知の拠点として県民の皆様にも愛される図書館に成長していると捉えているところでございます。

②今後さらにどんな新しい機能を持たせて魅力を高めていくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

今月25日には、県民の皆様が、24時間いつでもどこからでもご利用いただける「電子書籍サービス」を開始したところでございます。

さらに来月には、第2弾といたしまして、来館することなく利用登録が可能となります「電子図書館アプリ」を開始する予定としております。

このことによりまして、これまで来館が難しかった、離島半島地区にお住まいの方や、仕事や子育てで忙しい方など、長崎県全域の皆様にも電子図書館サービスを便利にご利用いただけるようになります。

ぜひ多くの県民の皆様にご利用いただきたいと考えております。

(2) 部活動の地域移行について

①少子化が進む中、将来にわたり子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保するため、部活動の地域移行を進めることが必要であり、学校の働き方改革にもつながる。本県の地域移行の現状はどのようになっているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

休日の部活動の地域移行に向けては、長与町における中学校と総合型地域スポーツクラブが連携した活動や、雲仙市内の中学校の吹奏楽部が合同練習に取り組むなど、実践研究が進められております。

また、各市町においては、円滑に地域移行を進めるために協議会等を設置し、今後の体制整備やスケジュール等について検討を行っているところです。

県においては、昨年12月に地域移行における新たな地域クラブ活動の運営体制や地域連携、環境整備の在り方などをまとめた国のガイドラインが示されたことを受け、今年度中に「長崎県部活動の在り方に関する検討委員会」における議論も参考に県の方針を策定する予定としております。

②本県の地域移行を今後どのように取り組んでいくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

国においては、令和7年度までの3年間で地域移行を達成することとしておりましたが、このことが全国的にも難しい状況を踏まえ、明確な年限を設定せず、各地域の実情に応じて、地域移行を早期に目指す計画に見直しております。

あわせて、各自治体には、円滑な地域移行へ向けた準備や土台づくりが進むよう、来年度もこれまでと同様に、実践研究に取り組むこととしております。

本県においても、先行して実践研究に取り組む長与町や雲仙市の成果や課題を市町、関係団体等と情報共有を図りながら、各市町が地域の実情に適した移行モデルを構築できるよう市町と連携協力し、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会確保に取り組んでまいりたいと考えております。